

# たかつき市民環境大学 カリキュラム(予定)



午前 (10時~12時)	午後 (1時~3時)
●入学ガイダンス (運営スタッフ)	●マネジメントの時代-参画・協働の視点から- (兵庫県立人と自然の博物館館長 中瀬勲さん)
●自然と親しむ (大阪大学大学院工学研究科付属オープンイノベーション教育研究センター特任教授 栗本修彦さん)	★自然観察入門 (大阪大学大学院工学研究科付属オープンイノベーション教育研究センター特任教授 栗本修彦さん)
●芥川・淀川水系の魚たち (環境省希少野生動物種保存推進員 横山達也さん)	★芥川で遡上アユを見つけてよう (環境省希少野生動物種保存推進員 横山達也さん)
●川と人、そして生き物たち (元淀川流域委員会委員長 宮本博司さん)	●ヒートアイランド問題とその対策 (関西大学環境都市工学部専任講師 宮崎ひろ志さん)
●昆虫の世界 (あくあびあ芥川学芸員 中台憲一さん)	●生命誌とは (JT生命誌研究館館長 中村桂子さん)
●芥川の水質と生物 (NPO法人芥川倶楽部理事長 田口圭介さん)	★水生昆虫を調べよう (NPO法人芥川倶楽部理事長 田口圭介さん)
●植物入門 (あくあびあ芥川主任学芸員 高田みちよさん)	★水草を観察してみよう (あくあびあ芥川主任学芸員 高田みちよさん)
◎北摂地域の地形と地質 (大阪市立自然史博物館学芸員 中泉武司さん)	★地質の観察をしてみよう (大阪市立自然史博物館学芸員 中泉武司さん)
●生物多様性保全と里地里山 (兵庫県立大学名誉教授 服部保さん)	★里山を歩いてみよう (兵庫県立大学名誉教授 服部保さん)
●高槻の森林 (NPO法人森のプラットフォーム高槻理事長 小林正武さん)	★高槻の森を歩いてみよう (NPO法人森のプラットフォーム高槻理事長 小林正武さん)
●世界の財産 綿殿のヨシ原 (綿殿ヨシ原研究所所長 小山弘道さん)	★綿殿のヨシ原を歩いてみよう (綿殿ヨシ原研究所所長 小山弘道さん)
●高槻に見る野生動物 (元梅花女子大学教授 園入克介さん)	★高槻の都市公園、街路樹を巡ってみよう (たかつき環境市民会議里山グループ会員)
●高槻の歴史と環境 (今城塚古代歴史館特別館長 森田克行さん)	★今城塚古墳を学ぶ (NPO法人高槻市文化財スタッフの会会員)
◎市民、地域主導による再生可能エネルギー普及 (元日本環境学会会長 利田武さん)	●地球温暖化対策の動向と省CO2社会に向けた取組 (大阪ガス㈱ 職員)
●自然と遊び (NPO法人シニア自然大学高槻支部ネイチャーたかつき会員)	★野鳥を観察してみよう (高槻野鳥の会代表 又野淳子さん)
●市内の環境保全活動団体の紹介① (高槻市内の環境保全活動団体)	●市内の環境保全活動団体の紹介② (高槻市内の環境保全活動団体)
●これからの都市・まちづくりのあり方 (近畿大学 総合社会学部 教授 久 隆浩 さん)	●ワークショップ (運営スタッフ)

● 講座、★ 野外実習、◎ 公開講座 注) プログラムの内容、講師は変更となることがあります

- 開催日時 平成31年6月~平成32年2月(金17日)、午前10時~午後4時頃までを予定  
※講座内容により終了時間は前後することがあります。
- 会場 クロスバル高槻、生涯学習センター 会議室等
- 定員 30人(多数抽選)を予定
- 受講料 15,000円を予定 ※昼食代、現地集合の交通費、カリキュラム外の観察会の費用等は別途。
- 問合せ先 高槻市環境緑政課(072-674-7483)へお問合せください。

たかつき環境市民会議では各グループの会員を募集しています

発行：一般社団法人たかつき環境市民会議  
編集：たかつき環境市民会議編集委員会・プレスグループ  
問合せ先：たかつき環境市民会議  
●住所：高槻市山丸町2番30号 高槻市環境緑政課分室内  
●TEL・FAX：072-675-4646  
●mail：[takatsukikankyo21@yahoo.co.jp](mailto:takatsukikankyo21@yahoo.co.jp)

## たかつき市民環境大学 わくわく、目からうろこ、感動の連続 新しい仲間と楽しく学ぶ



高槻市は、府下3番目に広い森林面積を有し、水とみどりの豊かな自然や歴史遺産が多く残されています。これ等の良好な環境を子や孫の世代に末永く引き継ぐ担い手の育成を目的に、平成25年「たかつき市民環境大学」(高槻市主催)が開校、今年春までに150余名が卒業し、市内で様々なボランティア活動をしながら第二の人生を楽しんでおります。  
この大学のモットーは、「高槻を学ぶ 高槻で生きる 高槻を活かす」です。座学だけでなく、年間講座の1/3(11講座)が野外学習で、我々の子どものころを思い出すような「遊び心のある学習」を楽しんでいただけます。  
卒業生は、大学の延長のような感じで楽しみながら環境保全活動に取り組んでいます。仲間と野外で自分ができる作業をすることが、いつまでも元気に過ごせる秘訣だと確信しております。  
「たかつき環境市民会議」は、この「たかつき市民環境大学」の運営に協力しており、この度は市民の皆様にご当大学を知っていただくよう、ご案内いたしました。

たかつき市民環境大学 実行委員会委員長 宮島 彰



自然と親しむ・自然観察入門



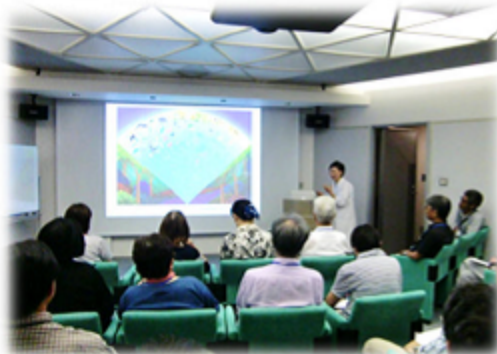
感想) 葉をちぎると臭い、触ると毛がいっぱい  
で気持ちいい。白、むらさき、身体でい  
っぱい感じる事ができました。

芥川で遡上アユを見つけよう



感想) 川に入り、バランスが取れず苦労した  
が、実物を取り、机上では味わえない  
経験であった。

生命誌とは



感想) 38億年の地球の生命のほんの僅かな  
時間の今の命。すべての生き物の環境  
より良い状態に保たれることの大切さ  
を知りました。

水生昆虫を調べよう



感想) 気持ちの悪い水生昆虫も食物連鎖の頂  
点に立つ人間には大切な生物です。芥  
川の環境を整えることの重要性がわか  
りました。

植物入門・水草を観察してみよう



感想) 植物をみて楽しむ基礎は名前を知るこ  
と。100種類から頑張ります。

## わくわく、目からうろこ、感動の講座

私たちのまち高槻を多様な視点から座学・観察で  
学び、新たな発見、多くの気づきがありました。  
また、多くの新しい仲間ができました。

講座の様子は、ブログでも  
ご覧いただけます



高槻環境市民会議ブログURL: <https://blog.goo.ne.jp/ecotakatsuki>

再生可能エネルギー普及を推進しよう



感想) ヨーロッパの国々に比べて、日本の市民意  
識の低さがよくわかった。自分に今後何が  
できるか、考えるのに役立った。

里山を歩いてみよう



感想) 五感を使って植物を学んでいく事に  
納得! 楽しく学べた。

鶴殿のヨシ原を歩いてみよう



感想) 長年、ヨシの保全に取り組んでこられ  
た話、ユーモアを交えて、わかりやす  
かったです。静かな愛情が伝わってき  
ました。

北摂地域の地形と地質



感想) 日本は地震からは避けられないので、  
上手に付き合って生活する事が大事  
であると思った。また、常日頃  
からの「防災」の重要性を再認識した。

高槻の森林



感想) 高槻の森林状況が定量的に説明されて  
よく理解できました。また、ドングリ  
の多くが食べられることに驚きました。



自然環境の保全・利用の活動をすすめています



たかつきエコフェスタ  
 2019/1/18～19

2019  
 早春特集号



津之江de冬の野鳥観測会  
 2019/2/10

津之江公園を活かす会は2月10日(日)に津之江公園で冬の野鳥観察会を開催しました。市民の参加者は子供2名を含む17名でした。観察した野鳥は、高槻市で多く見られる「ヒドリガモ」や全身黒く、くちばしと額が白い「オオバン」など全部で24種類でした。講師の高槻野鳥の会の又野淳子代表は、望遠鏡で捉えた野鳥について、図鑑を使って翼やくちばしの色や鳴き声、野鳥の生態など詳しく説明してくださいました。鮮やかな青色の翼とオレンジ色の胴体、長くくちばしが美しく「飛ぶ宝石」と言われるカワセミを何回も観察することが出来て心が癒された野鳥観察会でした。



## 水と緑の癒しのスポット 津之江公園の再生

たかつき市民会議とたかつき市民環境大学OB会とで結成した「津之江公園を活かす会」の活動は平成28年1月8日から定例活動を開始して以来、丸3年が経過しました。重点的に実施した外来植物の駆除の成果がようやくでてきました。また、植栽した在来野草も根付いてきています。その活動の足跡をたどります。



2016年1月 さあ 活動開始



2016年1月  
いずこも雑草が一杯



2017年3月  
コドラート法で調査開始



2017年3月  
ようやく雑草が駆除された



2017年7月  
ミズヒマワリの駆除に大奮闘



2017年4月  
在来種の野草の植栽



2018年7月  
丘陵部も整備され美しく蘇生



2018年11月  
植栽したキク科フジバカマが活着

### 水環境保全G



水辺の美化



あくた川下流調査



芥川クリーンアップ活動

### グループの活動



木の美工作

里山G



樹木の観察会

たかつき環境市民会議では  
各グループの  
会員を募集しています

### 人にやさしい交通G



交通安全啓発活動



裏のツル採取

### 市民環境大学



裏のリース作り 付-2